

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	フォレストキッズ稲毛海岸教室 (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 30日		~ 2026年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 34
○従業者評価実施期間	2026年 1月 30日		~ 2026年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムを子どもの様子、保護者の意見から都度改善している内容であると評価して頂いています。	支援の様子以外でも、普段の生活(ご自宅や保育・幼稚園)での様子を伺うことで、課題を抽出しています。	職員一人ひとりがスキルアップをし、より質の高い療育を提供できるようにしています。
2	子どもの特性に応じた環境調整を実施しています。	特性に応じ、半個室形式や子供たちの距離をとる等の配慮を行っています。	新しい子どもに対してベテラン職員を配置する等の配慮を検討しています。
3	個別支援計画書作成にあたり、保護者のご要望を伺いながら作成をし、それに基づいた支援を提供していると感じていただけています。	伺った要望から、詳しく内容を聞きとり、職員で検討してプログラムに反映しています。	保育園や幼稚園と連携を取り、お子さまの情報を多角的に取得して計画書を作り、全体発達に役立つプログラムを構築しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	入口までの階段があるため、ベビーカーで来所する際に不便。	手すりが高く、建物が古い為、階段も急であること。	階段を無くすことは困難なため、職員が階段下まで迎えに行くなどの対応を行っている。
2	送迎が無い為、平日の利用者が少ない。	徒歩で安全確保できる近隣の幼稚園・保育園への送迎。	徒歩送迎の安瀬確保策(ベビーカーの導入など)。

3	感覚統合に伴う運動系の支援が難しい。	巧技台のような運動具を用意し、全体発達を基本とした療育を提供できるようにする。	改善を図るために巧技台を導入する。
---	--------------------	---	-------------------